

■吉益東洞 医家。山脇東洋に認められて、全国に名が知られ、「類聚方」はベストセラーになった。
よしますとうどう
赤穂浪士討入1702＝ 安芸国広島で、 室町管領畠山政長の末裔で祖父の代から金瘡外科を業とする重宗の子に生まれる。

徳川綱吉没・1709＝ 7歳：

冥途の飛脚・1711＝ 9歳：

徳川吉宗将軍1716＝14歳：

少年時代兵武を好み、家業を継ぐことを本意としなかったが、
洋書輸入解禁1720＝18歳： 悟るところあって、良医になることを決意し、祖父の門人津祐順に従い、吉益流医を学び、

一時産科で知られたが、

梅岩心学始・1729＝27歳：

享保大飢饉・1732＝30歳：

古医書を研究して万病一毒説を立て、

天下の医師たらんと志し、

・・・・・・1738＝36歳： 在京する広島藩儒堀景山を頼って、一家を上げて上洛し、古医方を唱えたが、衆知を集めることができず、業不振のため貧窮を極め、裏通りに移住して、さまざまな副業をするうち、

・・・・・・1741＝39歳： この頃、 窮状を知った友人から佐倉藩主堀田家侍医に紹介されるも断り、

梅岩没・・・1744＝42歳： この頃、 ついに行き詰まり、絶食して、五条天神に願を立てる。

徳川吉宗隠居1745＝43歳：

菅原伝授十・1746＝44歳： *副業でつくった人形を納入しようと問屋を訪れた際、そこの老母が重症と聞いて診察、主治医の名医山脇東洋の処方を見て一点を指摘、そのことを知った東洋に認められ、以後、親交するようになるとともに、業は一気に盛んとなり、

義経千本桜・1747＝45歳： 東洞院に移り、以後、東洞と号する。

徳川吉宗没・1751＝49歳： *諸方を撰してまとめた「類聚方」を刊行し、以後、ベストセラー。

・・・・・・1756＝54歳：

大弐政治批判1759＝57歳： 「医断」を刊行。

大岡忠光没・1760＝58歳：

錦絵始・・・1765＝63歳：

田沼意次老中1772＝70歳： 自らの長男南涯はじめ、村井椿寿・帆足通禎・中西惟忠ら、 多くの逸材を輩出し、

大原騒動・・・1773＝71歳：

没した。
著書は、ほかに「薬徴」「医事或問」「医方分量考」「方極」「丸散方」「古書医言」「方選」など。